

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	アクションアタック	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.469	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：アクションマックス**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工

箱出し状態

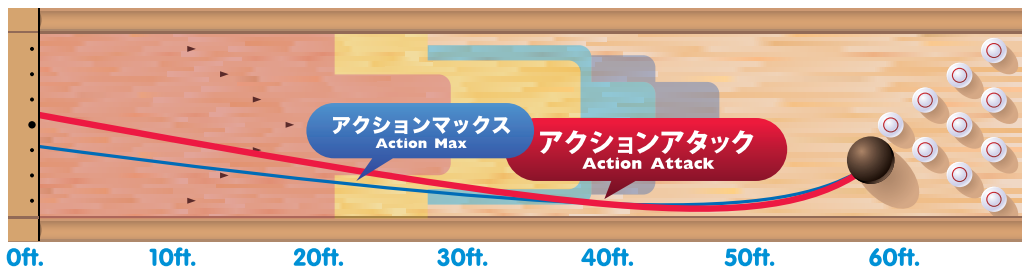
加工

ペーパー

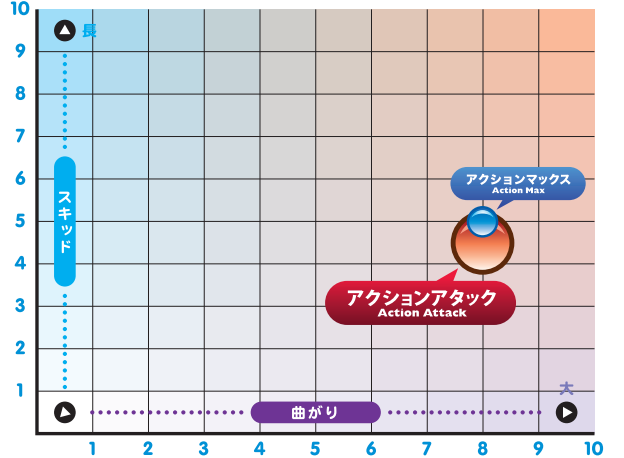
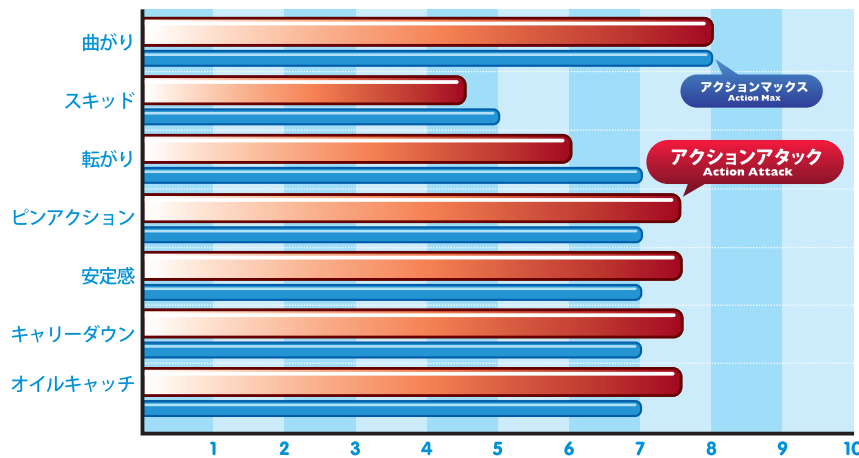
ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

記憶に新しい'06千葉オープンで、ABS専属の山本勲プロがアクションパケットでV2を成し遂げました。「優勝請負ボール」として名高いコロンビア社アクションシリーズから、早くも新製品アクションアタックの発売です。

このアクションアタックはアクションシリーズの「核」であるバックエンドリアクションをより強化するために、**新たに心臓部にCentrifuge Coreを採用し、オイルに対して強さを求めた前作のアクションマックスに使用したM80<sup>2</sup> Friction Plus カバーストックを採用しています。** 投球したイメージは第一印象でピンヒットが非常に強いと感じたことでした。ピンアクションがさほど柔らかい訳でもないし、硬い訳でもない。でも低く重くとぶ感じが印象的です。私は個人的に先で動くボールは好むほうではありませんが、**先で動くボールの割には挙動が少なく、ポケットまで安心して軸移動し、フィニッシュしてくれ感じが強い**のです。そのリアクションイメージもあり強いピンヒットを感じているのかもしれませんが。表面加工においてもスコッチメッシュの#1000で軽く当てあげると、よりオイルに強く、シャープなリアクションは増す傾向になります。私ぐらいのタイプでもその加工でトーナメントで一番曲がるボールとして使用できます。コア形状を一新し、新たなアクションの伝説の始まりです。プロボウラーのみならず、「優勝請負ボール」の伝承者は、貴方かもしれません。

### 特記事項

言わずと知れたシャープなバックエンドリアクションを真髄とするアクションシリーズの最新作。**MAXなポテンシャルを引き出すなら、スコッチメッシュ#1000ぐらいが超オススメ!**